

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：矢部 慎一 幹事：星野 実
- 広報公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世

2019年10月20日(日)

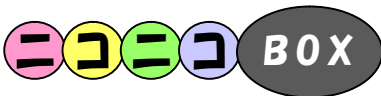
通巻第920号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail rc@oamirotary.com



大網白里市産業文化祭

開催場所 大網白里市運動広場



矢部会長・星野幹事
諸岡ガバナーの公式訪問に感謝してニコニコです。

四之宮由己会員
諸岡ガバナー様ようこそいらっしゃいました。

例会日	10月8日	9月25日
会員数	29	29
出席	17	19
欠席	12	10
MU	0	1
免除	1	1
出席率	62.07%	72.41%

諸岡ガバナー公式訪問



国際ロータリーの現在とこれから

本年度当地区ガバナーを務めます 諸岡 靖彦（成田ロータリークラブ）です。本日は国際ロータリーの現況と、来年10月に100周年を迎えます日本のロータリーの実情についてご報告する同時に、私のロータリーに対する考え方を中心にお話しさせていただきます。

ロータリークラブ（RC）は、その会員であるロータリアンによって構成され、一方、国際ロータリー（RI）は、RCによって構成されます。ロータリーの創設者 P.Harris(1868~1947)は資本主義社会の勃興期の、商業道徳が忘れられてしまった1905年に、米国シカゴの街に信頼と友情の仲間を増やしたいという趣旨でRCを創りました。親睦と相互扶助が初期の目的でしたが、奉仕という目的を加えることによって全米に拡がり、国境を超え、今では200以上の国と地域に、クラブ数3万6千、会員120万人を数える世界有数の奉仕目的団体となりました。こうした世界中のクラブの連合体をRIと称しています。ロータリーは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりで、世界に目を開いて幅広い奉仕活動を国際社会に、地域社会に展開しています。

このようにロータリーは奉仕という基本目標の下に、世界中に会員基盤を有し、クラブを、地域を、世界をリードしています。ロータリーの活動を確固たるものにしてゆくためには、一人一人のロータリアンがロータリーを熟知して、私たちが所属するクラブをより効果的なクラブに成長させることが大切です。クラブを構成する一人一人のロータリアンがリーダーシップを身につけ、会員組織を強くして、社会が必要とする奉仕活動を継続させてゆくことがロータリー活動の課題です。

本年度RIのMark D. Maloney会長は、ここ20年間の会員総数が120万人のレベルで推移していることを停滞と断じました。情報化と交通手段の格段の進展がグローバル化を進め、世界の動きがより早く、狭くなっています。他方で地域紛争が長く尾を引き、経済や通商分野には対立と分断が進み、世界中がバネ感を感じています。「あと少し」に迫ったポリ根絶にも、時間とカネがまた掛かりそうです。マローニー会長は、かつてないほど分断化された世界に繋がりを取り戻すことができるのはロータリーであると断言します。ロータリーはより健康的で、平和で、持続可能な世界に向けた国連とのコミットメントを有し、他の組織には見られない平和と相互理解という精神の下に世界中の人々が繋がることが出来、目標に向かって意義ある行動を起こすことの出来るインフラを有しています。今こそロータリーの出番です。ロータリーの組織としての勢いを回復させ、地域社会や家庭、職域に新しいつながりを創り、世界をつなぐことがロータリーの使命です。こうした背景から、マローニー会長は『ロータリーは世界をつなぐ』ROTARY CONNECTS THE WORLDのテーマを打ち出されました。

私はマローニー会長のテーマを受けて、「ロータリーから千葉を元気に」の旗竿を掲げました。千葉を元気にするためには地区内クラブが元気にしなければなりません。私の使命はクラブを鼓舞し、クラブを元気にすることです。地区組織の総力を挙げて、クラブを元気にします。

さて、ご参集のロータリアンの皆様へ投げかけてみたい話題があります。皆様ご自身にとってロータリーの魅力とは何でしょう、ロータリーを続けている理由は何だとお思いになるのでしょうか？来年10月に日本にロータリーが生まれ



て100周年を迎えます。「日本のローター100周年実行委員会」が一昨年全国のRCに対して意識調査を行いました。この中に日本人ローターの意識を探ることができます。(この詳細は「ローターの友」2017年11月号に掲載)

上位6番目までの理由を拾ってみますと ①異業種交流ができる ②生涯の友人・仲間ができる ③自己研さんと学習・成長の機会 ④例会が楽しい ⑤奉仕活動ができる ⑥心からの親睦が得られる… となっています。奉仕活動への期待よりも、他人との関わりを大切にしている、という結果でした。皆様の場合はいかがでしょうか?

私の考え方ですが、「出会いの妙」、それがローターの魅力の第一です。2010-11年度にクラブ会長を務め、その後地区へ出るようになってから、殊に多様な地区ローターとの交流が楽しみになりました。GND、GN、GEと年々立場がバナーに近づくにつれて、シア・リーダーといわれる方々やPDGと接する機会が増えて、様々な人間像、彼らの奉仕活動の体験談、立ち居振舞い、リーダーシップのあり方を垣間見てきました。ローターは対等です。ローターの会合では、公式、非公式に関わらず対面すればどんな著名な方でも対等なお付き合い、お話を交わすことができます。「ローターにNo! は無い」とよく言いますが、回ってきた役目はお受けするのが良いと思います。ローターを学び、自分の世界を広げるチャンスだと思うべきです。苦手な分野であっても、ポジティブに受け取るべきです。不安な気持ちが準備を進め、問題意識を高めます。例会や奉仕活動では、意識して年代の違う会員、職業分類の全く違う会員との交流が視野を広げ、感性を刺激します。RIの青少年プログラムは年齢層によって設定が変わりますが、IAC、青少年交換、RYLA、RACに参加しますと、ローターファミリーの幅の広さと若い力に教えられます。ものの見方、考え方そして何よりもローター観が養われます。このほかにもローターの世界的ネットワークの凄さ、R財団や米山奨学会の資金力は奉仕活動にとって、大きな原動力であり、その事業に惚れこめば健全な寄付協力に近づけるといいます。

ローターの全体像を絵にして表現すると、どんなことになるでしょうか! 『ローターの樹』をご覧ください。青木貞雄がバナー年度の2016年の地区大会にRI会長代理で当地区に派遣された渡辺好政PDGがRI理事をお務めの2006-07年度の頃に持論を展開したというのがこの図表です。樹を育て、森を創る発想は日本人の自然観によく嵌ります。森を征服して街を切り拓くという西欧人の感性との差が見て取れます。土壌(中核的価値観)があって、根(Rの理念)があるから幹(Rの目的)は育ち、幹を太らせれば枝葉(五大奉仕活動や6つの重点分野)が広がり、陽光を浴びて果実(R財団)が実り、全体景観としてのRの公共イメージが向上する…というものです。

この『Rの樹』から様々なインスピレーションが生まれます。ローターは「個」からスタートして自学(楽)自習して、個のリーダーシップを養います。樹を大きく育ててゆくには高潔性という土壌が特に大切です。ローターがローターであるためには、職業倫理に従って得た経済力が個人の奉仕活動の原動力になるからです。「クラブ」が地域社会に働きかける要件として、クラブが元気でなければ地域に対して健全な提案やリーダーシップが発揮できません。会員基盤を多様化させて、クラブを持続的に盛り上げてゆくことが大切です。クラブの活動計画は奉仕活動も親睦も絆を創るための相互の存在と役割を認め合って、何れの活動だけではなく、上位の目的を共有し合うヨコワリのクロス・プロモーションを意識して動かさなければなりません。この樹を持続的に、いかに強く育てるかは、戦略計画の課題です。樹を育て、森を如何に創ってゆくかはクラブ会員全体の総意に関わります。全会員の討議で森を創るビジョンを構想してください。ビジョンができれば毎月の、毎年の作業計画を創って、実行してください。半月後、1年後の実行チェックは欠かすことのできない、次のステップに向かう大事な振り返りです。こうして樹が育てばローターの活動はますます意義深くなり、楽しくなることでしょう。

ところで、世界のローターと日本のローターにはギャップが生じている、ということをお聞きになっていませんか? 日本のローターが重視する職業奉仕(実は、日本人ローターがこだわっているのは職業「倫理」のようです)は、世界中の何処へ行っても通じないというのです。職業奉仕とは職業上持ち得た専門知識や技能を生かして社会奉仕に貢献することだと、世界は考えているようです。職業奉仕を特別なローターを動かす土台としては考えていないのです。先の規定審議会でRACをRIの会員として認める件や、例会の欠席補填(メックアップ)を当年度以内とする緩和決定には驚きました。しかしこの狭い日本列島で2000年もの永い間、自然神信仰(神道)、仏教、儒教を自発的に「餅をこねるように」創り、武士道や商人道に形成し、実践してきた日本人の思想の風土を考えれば、職業奉仕の重視というスタンスは軽率なポピュリズムよりは遙かに重いものです。日本のローターがクラブゴスとか、周回遅れで走っているという評価はいただけるものではありません。来年に迫った日本のローター100周年では、ローターという米国建国期ペリウチンの思想潮流を、日本人の風土、文化になじむよう取り入れてきた社会運動として正しく評価されるべきものだと思います。如何でしょうか。

さて、これからのローターの方向はどうなるのでしょうか? 5月から日本の元号が「令和」と改元されました。明治以降の大正、昭和、平成の150年はおおよそ30年ごとに登り坂と降り坂を交互に経験してきました。平成の30年間の日本は、バブルの崩壊以後世界同時不況、大震災や自然災害がつづいて、降り坂の30年でした。外に目を向ける産業分野もありましたが、大多数の内向きな日本人は「井の中の蛙」と化しました。政府は内需を高めるために躍起になって財政出動しますが、国の借金が膨らむだけでした。人件費の上昇以上に生産性が目立って改善するわけではなく、低成長(時こはマクセル成長)がつづいています。

令和の時代には、もっと大らかに、日本人が持つ相手に心を寄せる優しさが発揮される時代になって欲しいと思います。そして日本人がもっと国際社会に出て、世界に貢献でき期待したいと思います。そのためには、ローターと同じように、日本人は明確な国家戦略をもつことが必要です。先ごろ経済同友会が発表した『危機感なき茹でガエル日本——過去の延長線上に未来はない——』の、日本再生の処方箋をご紹介します。三次元の図表で表わせば、X軸=経済の豊かさの実現、Y軸=イノベーションによる未来の開拓、Z軸=社会の持続可能性の確保、という社会の、近視眼ではない30年、50年後を見通した構想を基本として、そこに到る道筋を考えなければならぬ、ということです。令和の時代を、「敗北と挫折」の平成の30年の延長と想うの



ではなく、危機感を持って、日本人の繊細な感性を生かせる健康長寿、地球環境、持続可能性を構築する分野などで世界のトップを目指すべきです。

1月のサンディエゴのRI国際協議会で、GEとしてGETSに参加したとき、会場の入り口に掲げられていた標語は Join Leaders ,Exchange Ideas ,Take Action ! … 「リーダーを集め、意見を交換し、行動に移せ！」でした。かつてのそれは、Enter to Learn ,Go Forth to Serve! … 「入りて学び、出でて奉仕せよ」でした。標語が変わったことの意味する所は、RI が戦略計画を構築するための姿勢を示しているものであると理解します。リーダーを集めて、意見を交換して、そして行動する、ということです。これがRIのこれからの行き方です。

以上で「RIの現在とこれから」というお話を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。

茂原中央RC 山岸会長挨拶



皆さん、こんにちは、朝夕にはさわやかな過ごしやすいい気持ちの良い秋風が心地よく感じられるようになってきました。

先月、台風15号で被災された方には心よりお見舞い申し上げます。また災害復旧にご対応され職業奉仕として多くの方々に全力でご対応された会員の皆様にご感謝申し上げます。

週末には台風19号も接近の予報が出ています前回15号より勢力の強い台風と報道されています、今週末まで念入りの準備をしっかりとしたいと思います。

改めまして、本日は大変忙しい中、国際ロータリー第2790地区ガバナー 諸岡靖彦 様国際ロータリー第2790地区グローバル補助金事業委員長 諸岡市郎左衛門 様、立石真辞 様、第七グループガバナー補佐 堤正広 様、ようこそおいいただきました。また、本日は合同例会ということで大勢の方にお集まりいただきました大網ロータリークラブ様と共に心より歓迎申し上げます。本日は賑やかで有意義な時間となりますよう頑張らせていただきます。

さて、茂原中央ロータリークラブのお話になりますが当クラブ1993年に発足し27年目を迎えます。4年ほど前には13名まで少なくなった時期もありますが、前々会長の小沢会員さん前会長の荒井会員さんや諸先輩方のお力で本年度22名まで会員増強できました。

年齢構成も70歳以上4名、60代3名、50代3名、40代7名、30代4名、20代1名とバランスの良い構成となっております。わたくしは入会5年目で会長となりましたが、諸先輩方や後輩に恵まれ元気に和気あいあいと活動をさせていただいております。

また、大網ロータリークラブ様には親睦活動、各ロータリー勉強会等で勉強させていただきながら交流を深め、わたくし自身も勉強し成長させていただきたいと思っております。

本日はガバナー様より貴重なお話をいただき素晴らしい時間にしたと思いますのでよろしく願いいたします。

合同クラブ協議会 大網RC委員会発表

奉仕プロジェクト委員会 国際奉仕リーダー 高山 義則 会員



奉仕プロジェクト委員長所用の為、国際奉仕リーダーの高山から「奉仕プロジェクト委員会」の活動を報告させていただきます。

まず、「職業奉仕」ですが、昨年度より会員の事業所で行っている「子ども食堂」に協力しております。内容については、後程大越会員より報告があります。

「社会奉仕」については、昨年度、地区補助金30万円+クラブから87万円弱合わせて117万円の事業で、市立大網病院前のバス停の屋根を建てました。病院に通うお年寄りがバスを待つ間、風雨にさらされなくなったと喜んでいただいております。市広報にも掲載され市長からもお礼の言葉をいただきました。いい社会貢献ができたと思います。

「国際奉仕」については、今、一番力を入れている奉仕活動です。
1つ目は、ネパールの女性の識字率向上の為、毎年15万円の資金援助を行っております。
2つ目は、スリランカの子供達への教育支援です。「コスモス奨学金」に協力して活動を行っております。これは、成績は良いのですが、貧しい家庭の為学校に通えない子供達の里親になって、学校に通えるよう支援する事業です。里子1人に1万2千円支援すると1年間学校へ通えます。現在、当クラブでは15名の里子に支援しております。また、学校に通っても食料のない家庭も多くあります。そのような里子達に食糧支援を行っております。ひとり年間1万円あれば食事ができます。当クラブでは会員からの寄付金年間20万円で20人分の支援を行っております。その他、毎年東金のサンピアで「スリランカの子供たちの絵画展」を「コスモス奨学金」と共催しており、その入賞者の副賞と参加賞を提供しております。

スリランカには、毎年1月に行われる奨学金授与式に6年前から参加しております。昨年は5カ所で行われた授与式に会員3名で参加しました。また、奨学金授与式とは別に絵画展に参加してくれた学校へ賞状と副賞の授与式にも参加し、直接手渡しをしております。これらの事は現地の新聞にも大きく取り上げられました。今後も、同様な支援を行っていき他クラブの方々と共に協力し合い、進めていきたいと考えております。スリランカの件について、更に四之宮会員からお願いがありますので、よろしく願います。

地区スローガン

「ロータリーから千葉を元気に」を合言葉に、以下の通り開催致します。

記

【大会第 1 日目】

2020年2月8日(土)

会場 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール

〒261-0021 千葉県美浜区ひび野 2-3

TEL 043-296-1112

登録開始 12時30分

開会点鐘 13時00分

【R I 会長代理歓迎晩餐会】

2020年2月8日(土)

会場 ホテル ザ・マンハッタン

〒261-0021 千葉県美浜区ひび野 2-10-1

TEL 043-275-1111

登録開始 17時30分

開会 17時50分

【大会第 2 日目】

2020年2月9日(日)

会場 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール

〒261-0021 千葉県美浜区ひび野 2-3

TEL 043-296-1112

登録開始 8時30分

開会点鐘 9時30分

*本会議後の大懇親会(無料)にも是非ご参加下さい。

*大会1日目 出席対象者

クラブ会長・幹事 及びガバナー補佐・地区委員長

*大会2日目

昼食及び懇親会の都合上、確実に来場される方のご登録をお願いします。

登録方法期間

11月1日(金)～12月13日(金曜日)

WEB登録 クラブ専用「報告・登録URL」地区大会よりご登録

敗戦国日本を救った恩人



昭和26年9月4日～8日迄、サンフランシスコ講和会議(敗戦国日本の処分会議)が開催され、戦勝50ヶ国が参加した中で、当時セイロンの財務大臣だったジャヤワルダナ氏は、「日本に独立を許し、戦後賠償などを求めることをやめようではないか。日本は昔のようにアジアの兄、アジアの光になってほしい。」「憎しみは憎しみをもっては止まず。ただ慈悲をもってのみ止む」と仏陀の教えを説き、吉田茂日本全権代表は感銘を受けて泣き、アメリカは深く考え、ソ連国は署名から脱退、47ヶ国の調印によって、日本は占領統治から免れ、国際社会へ復帰することが出来ました。この様に日本を擁護してくれた大恩あるジャヤワルダナ氏のことを日本人はあまりにも知りません。このような大事な事をなぜ学校で教えなかったのか不可思議です。これではジャヤワルダナ氏には申し訳なく思います。吉田茂元首相は、スリランカの恩義を決して忘れてはならないと日本政府に言い残し、政府は病院や国会議事堂を無償で建てています。更には、皇室をはじめ日本仏教界と深く交流し、死後には左眼球の角膜を日本に献じてくださっています。

私が考えた事は、ジャヤワルダナ氏のことを手っ取り早く広めるために、ロータリーの友に野口先生の著書『敗戦後の日本を慈悲と勇気で支えた人』を、ロータリアンに1人でも多く読んで頂くことが良いのではと考え投稿しました。

尚、この本の売上金や講演料の一部は野口先生が温代表をして居ります。

「コスモス奨学金」(スリランカ子供達への支援活動団体)に充てて下さるとの事ですので、是非共宜しくお願い致します。ジャヤワルダナ氏の功績を称える顕彰碑は、現在のところ日本国内では下記の三ヶ所しかありません。

ジャヤワルダナ大統領 顕彰碑所在地

- ・東京八王子市 天海山雲龍寺内 1987年 10月
- ・神奈川県鎌倉市 鎌倉大仏隣 1991年 4月
- ・愛知県愛西市 明通寺 2016年 10月

子ども食堂 活動について 大越 将司 会員



3年前から市と協働で認知症カフェという事業を行っています。その一方で理論一貫として子ども食堂も合同開催しております。

大網白里市で発足していなかった「子ども食堂」を実施するにあたり、一法人で運営するのは資金的にも厳しいと感じ、子供達の為に協力頂けませんかとお願いしたところ、大網ロータリークラブの皆さんは快く受けて下さいました。

資金、食材の寄付や実際に調理をする方々には会員の奥様もおられ、その他多勢の皆様にご協力をいただいております。

地元の若い世代の方や子供達に大網ロータリークラブの素晴らしさを知って頂き、当クラブの会員増強にも繋がるきっかけになればと思っております。

